

週報

2010.7 ~ 2011.6

国際ロータリー第2730地区
佐土原ロータリークラブ

第1137回 平成22年10月27日(水)

2010-2011年度ロータリーテーマ



- 11月3日(水)・・・文化の日「特別休会」
- 11月10日(水)・・・職場訪問
「伊勢化学宮崎工場」12:00~14:00
- 11月17日(水)・・・会員卓話「村岡 博君」

佐土原ロータリー月間テーマ

【職業奉仕月間】

第1136回の記録 平成22年10月20日

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「奉仕の理想」
3. 四つのテスト
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 出席報告
7. 委員会報告
8. 会員卓話
「永野陽子君」
9. 点 鐘

会 長：藤堂 孝一
副 会 長：荒武 義博
幹 事：村上 實
報 告 員 長：林 厚雄
会 務 局 長：郡司 武俊
会 務 局 長：吉野由里子
宮崎市佐土原町下田島
11703-18
TEL：0985-62-7833
FAX：0985-62-7877
例 会 日：毎週水曜日
例 会 場：佐土原商工会 2F
TEL：0985-73-2567

会長の時間

＜藤堂 孝一会長＞

皆さんこんにちは、今日は第1136回の例会です。
先週は欠席しまして、荒武さんには大変お世話になりました、おかげで家内の手術は無事終了しまして経過は良好です。
地区大会への参加、大変お疲れさまでした。大会参加者は1400名の案内でしたが、大変盛り上がった大会かと思いました。
私と幹事は早めに出発して、ガバナー補佐・地区委員長・会長・幹事会に参加してきましたが、当日の本題は何と言ってもガバナーエレクトの選任がどうなるのかということでした。プログラムにガバナーエレクトの経過報告というところがありその報告を伊藤ガバナーがされて、今回の問題の最初の所に、つまり都城から責任を持って選出することになり、長峰基さんが引き受けられたと言われた時には会場から拍手が起きたぐらいでした。無事決着したことに安堵した次第です。
又、中部分区のガバナー補佐は宮崎西クラブの林 務さんです。私が幹事をした時の幹事で思い出のある方で、地区幹事もされているベテランです。何か元気の出る話題が出来ましたので、次年度が大いに楽しみです。
昨日のGSEに対する佐土原鶴松館および西都原古墳群の考古博物館への参加の皆さんありがとうございました。丁度私が都合で西都のほうには参加できなくなり申し訳ありませんでした。鶴松館は久しぶりに見学したのですが、多くの方に迎えていただき時間が少なく今度ゆっくりと見学したいと思いました。



「GSEメンバー」



「地元ボランティアの皆さん」



「GSE送別会/バナー交換の様子」

幹事報告

＜幹事 村上 實君＞

※例会変更届け～無し

※地区大会実行委員会～2010-2011年度地区大会ご参加の御礼文書

※地区増強委員会～

第5回ロータリークラブ女性会員の集いのご案内

日時 22年11月23日(祝日) Am 11:30～

場所 ジュイドガーデンパレス

鹿児島市 上新町町 電話 099-257-1211

会費 ￥2,000



出席報告

< 宮原 建樹君 >

ハッピーBOX披露

※岩切 正司君～ GSE ご苦労様でした、このプロジェクトは財団の基金です。
「財団へ」
※藤堂 孝一君～家内の手術が無事に終了しました。
「財団へ」
※林 厚雄君～遅ればせながら～7 転び8 起きで7月8日が結婚記念日でした。
永くなると数えるのも面倒ですね。
「ニコニコへ」



25名会員 (免除2名)
欠席 3名
出席 22名
出席率 95%

フォーラム

< 進行役 職業奉仕委員会 宮内 文功君 >

職業奉仕について 藤堂 孝一 会長

ロータリークラブの奉仕の一つに職業奉仕があります。世界にはいろんな奉仕活動の団体がありますが、その中でこの職業奉仕はロータリークラブしか提唱し活動をしていません。よくロータリークラブとライオンズクラブとどう違うのですかといわれます。その時我々ロータリアンは、ロータリークラブのもと会員が退会してライオンズクラブを作ったのだと説明をしますが、大きな違いのひとつにライオンズはクラブで奉仕する、すなわち「我々は奉仕する」と表現されます。ロータリーは個人で奉仕する、すなわち「私は奉仕する」と表現します。奉仕活動も活発に報道機関で取り上げられますのでライオンズクラブのほうが活発だと思われがちです。だからもっと広報を活発にしてロータリークラブをアピールするべきだとかボランティア活動をするべきだとかいろいろ意見があると思います。

しかし、ロータリークラブには職業奉仕という奉仕活動があるのです。他の奉仕活動、社会奉仕・国際奉仕等は受益者がロータリアン以外の人であり、ロータリアンは常に地域社会や国際社会の人たちのニーズに従って奉仕活動をし続けなければなりません。この職業奉仕に関して受益者はロータリアン自身であり、実践活動の成果はロータリアン自身の利益として還元されるのです。ロータリーの特徴は職業奉仕にあるわけですから、私たちは毎週ロータリーの例会に参加して、どのようにして継続的に右肩上がりの利益を得るかについて学んでいるのを自覚するべきではないでしょうか。

職業奉仕の理念がどのようにして生まれていったのか田中 P.G. が源流の会の中で述べられています。職業奉仕とは、アーサー・フレデリック・シェルドンが20世紀の企業経営の基本理念として教えていた考え方を、そのままロータリーが受け入れてロータリーの奉仕理念として採択したものであり、自分の儲けを優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営めば、結果として継続的な事業の発展が得られるという独自の思想です。自らが設ける為に職業に就いているという考えを捨てて、顧客の満足度を最優先しつつ、自らの職業を通じて他人に奉仕をするという考えで事業を営めば、その真摯な態度が顧客の心をとらえて、リピーターとして何度も事業所を訪れたり新規の顧客を紹介してくれるでしょう。その結果として大きな利潤が得られるという考えです。

ドラッカーの言葉に経営とは顧客の創造というのがあります。まさにその事なのだと感じた次第です。なかなかうまく説明できませんが、源流の会の田中 毅 P.G. の資料で説明しましたが、一度全文をコピーして皆さんに見ていただきます。



委員会報告 < 情報委員会 岩切 正司君 >

3分間スピーチ < 佐藤 高元君 >



ライオンズクラブとロータリークラブの違いについて。



クラブフォーラムと「ロータリーの友」の有効活用について

四つのテスト

「言行はこれに照らしてから」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

出席状況 第1131回

平成22年9月15日(水)

会員数 25名
(免除会員 2名)
出席者数 22名
欠席者数 3名
出席率 95.0%
メイクアップ 0名
修正出席率 95.0%

MEMO

例会中は携帯電話の電源を切るか
マナーモードにして下さい・・・

.....

.....

.....

.....

.....